**西澤重蔵 西澤貞治父子**

産業自治功労者。更級郡八幡村の人、安政三年十月二日に生る。

父は重蔵と言い、明治の初年戸長を勤め、後同村小学校敷地の選定、校舎の新築に関しては、和田郡平、松田穂並と共に教育の功労者である。

貞治又自治に与かり村長、郡会議員、県会議員等となり在任中同村植林事業を始めとして、小学校の設置、建築等に尽力した。

又同村西沖外四十八字百二十町歩の水田が古来より、其用水を佐野川より引入れ植付けしていたため、大正十三年及同十五年の如き旱魃の年には、真光寺池、大雲寺前池外池、梨窪池、猿飛池の貯水を以てして、尚且植付不能水田約三十五町歩に達するので、千曲川より電力揚水せんと決定し、西沖耕地整理組合の組織成りし時其の組合長となりその遂行に尽す。工事は昭和二年三月はじまる。千曲川取入口より、三百間の所に電動機百七十五馬力、直径十四吋半田式タービン喞筒(しょくつつ・ポンプ)を据付け、送水管五百八十六間五分、其の工費九万一千余円、土地所有者三百四十六人、段当り費用七十八円余で昭和三年六月完了した。貞治は其の月六日執務中病没七十四歳。

　(出典：昭和十四年 更級郡埴科郡人名辞書　　旧字は新字等に修正してあります)